

3. 収支状況

単位：千円、%

区 分		R 5					備 考
① 収入 (自主事業除く)	予算	46,571					
	決算	54,847					
	前年対比	-					
内 訳	指定管理料	2,431					
	物販機能	51,114					
	施設使用料（テナント・キッチン カー・マルシェ）	1,187					
	体験機能	4					
	その他	111					
	自主事業	0					
② 支出 (自主事業除く)	予算	47,710					
	決算	58,977					
	前年対比	-					
内 訳	人件費	7,493					
	施設管理費	957					
	広報費・広報事務経費	157					
	委託販売預り金戻入れ（物販）及び 販売仕入れ品	41,507					
	保守管理業務委託費	1,500					
	光熱水費	838					
	減価償却費	2,000					
	その他（消耗品・仕入れ・直接営業 に関わるもの）	1,333					
	販売促進費	2,132					
	間接費	480					
	その他（事務管理費・納税費用）	581					
③ 収支 A (自主事業除く)		-4,130					
	前年対比	-					

単位：千円、%

区 分		R 5					備 考
① 自主事業収入	予算	0					
	決算	0					
	前年対比	-					
事 業 ご							
② 自主事業支出	予算	0					
	決算	0					
	前年対比	-					
事 業 ご							
③ 自主事業収支 B		0					
	前年対比	-					
収支合計（A+B）		-4,130					

4. 個別評価

評価項目		評価内容	評価点		
			指定管理者	市	
業務の履行・維持管理	人員配置・労働環境	管理運営するために必要な人員及び資格者の配置、教育や研修の機会は適切か。労働関係法令が遵守されているか。(労働条件・賃金関係等)	8	7	
	保守管理	施設・設備・備品の保守管理(点検や修繕等)は適切か。清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務を適切に行っているか。	7	5	
	報告書・文書管理	事業計画、日報、月報、事業報告書、その他報告等の提出時期・内容は適切か。作成、受領した文書の管理及び個人情報の保護は適切に行っているか。	5	3	
	利用許可・利用料金	施設の利用許可及び利用料金の徴収は、条例に従い適切に行っているか。現金の取り扱いも適切か。	7	5	
	市民協働	ボランティアや利用団体との協働事業は継続・拡大しているか。	5	5	
	緊急時の備え	事故、災害等の緊急事態に対する対応(マニュアルや訓練)ができているか。市や第三者に損害を生じさせた場合の備え(保険)は十分か。	5	5	
サービスの質・利用状況	利用者満足度調査	協定書のとおり実施しているか。要求水準は達成されているか。結果を受け、満足度を高めるための新たな対策が取られているか。	7	5	
	要望・苦情	要望や苦情を随時受け付ける仕組みは適切か。回答・対応は適切に行っているか。	7	5	
	市民サービスの向上	市民サービスを向上させる取り組みはなされているか。(新たなサービス、開設日の拡大、開設時間の延長など)	7	7	
	情報発信・PR	施設の魅力を伝え、利便性を高める取り組みはなされているか。(ホームページ等の充実度・更新頻度、他媒体への情報発信)	7	5	
	利用者数	対前年度比で増加しているか。計画(目標)を上回ることはできたか。	5	7	
	自主事業	計画された自主事業は予定どおり実施されたか。また、利用者数や満足度の向上に寄与するサービスであったか。	5	5	
効率・経営状況	効率化・環境配慮	業務効率化に資する新たな取り組みを行っているか。省エネへの取り組み、リサイクル推進等の対応は適切に行われているか。	5	7	
	収支状況	計画を達成しているか。(利用料金収入、委託料の実績)	7	3	
	自主事業の収支状況	対前年度比で増加しているか。計画(目標)を上回ることはできたか。	5	5	
	施設・事業への投資	一定の利益を確保したなかで、「より魅力的な施設運営・サービスの実現」に投資する姿勢はあるか。	8	8	
			合計	100	87
			割合(%)	78.1	68.0
			(満点)	128	

【評価点とその基準】

8点(s)	協定等を遵守し、その水準よりも特に優れた管理が行われた
7点(a)	協定等を遵守し、その水準よりも優れた管理が行われた
5点(b)	協定等を遵守し、その水準に沿った管理が行われた
3点(c)	協定等を概ね遵守しているが、一部に課題が残る内容であった
1点(d)	協定等をあまり遵守されておらず、改善が必要な内容であった

5. 総合評価

総合評価	B(適正)
成果等	<p>開業初年度は約1か月半の運営期間であったが、開業当初から多くの方がお越しになられ、来館者数(計画比約150%)、売上(計画比約118%)とも計画を上回る形でスタート。年間40万人の入込目標、及び約3.7億円の売上目標の達成に期待が持てる船出となった。</p> <p>農産物や加工品などの販売については、本施設への出荷者・生産者・加工品事業者等で組織する生産者協議会を立ちあげるとともに、指定管理者と生産者等が丸となって、良質な製品の提供に努めている。</p> <p>開業後に、CN-LPGの導入など環境に配慮した取り組みを進めるとともに、子ども向け遊具(ブランコ、ボルダリング)やドッグラン施設(4月供用開始)の整備など、食のまちづくり拠点施設としての魅力アップに資する施策に次々と着手してきた。また、菜花の収穫体験、牛の乳しぼり体験など、特徴ある道の駅のイベントを開催。目標の達成に向け機能拡張やサービス向上に努めている。</p>
課題・工夫すべき点等	<p>本施設は、地域資源である多彩な農水産物を商工業や観光産業に活かすことにより地域の魅力向上と発展につなげる「食のまちづくり」を実践するための、道の駅の機能を有する食のまちづくり拠点施設である。</p> <p>本施設は単なる道の駅ではなく、「体験価値の高い道の駅」を目指している。この実現に向けて整備した、農園・キッチンスタジオの活用その他、指定管理者によるイベントの開催等により、魅力の高い施設へと成長させていく必要がある。これに向けて情報発信の強化や利用満足度調査の実施と回収率向上にも併せて取り組んでもらいたい。</p> <p>また、本施設の根幹となる地場産出荷物の安定的な確保に向けて、生産者等との関係性維持・構築に努めるとともに、まだ出荷したことのない生産者への積極的な呼びかけを行うなど、出荷促進に取り組んでもらいたい。</p> <p>他に、本施設を拠点として地域産業全体の発展につなげるために、市内各所の観光施設や体験施設、飲食店等への誘導や、市内の多様な事業者との連携など、地域との積極的な関わりを求める。</p> <p>基本的な施設運営は概ね適切に行われているため、運営の安定化を図るとともに、民間のアイデアやノウハウを活かし、施設の更なる魅力向上を期待する。</p>

【総合評価の基準】

S (優良)	満点に対する評価点合計の割合が 85%以上 かつ 全ての項目において (b) 以上
A (良好)	満点に対する評価点合計の割合が 75%以上 かつ (d) がなく (c) が1項目以下
B (適正)	満点に対する評価点合計の割合が 65%以上 かつ (d) がなく (c) が2項目以下
C (課題含)	満点に対する評価点合計の割合が 45%以上 かつ (d) が1項目以下
D (要改善)	満点に対する評価点合計の割合が 45%未満

※基準の一方しか満たしていない場合は、1ランク下の総合評価とする。(「割合85% & (c)が1項目」の場合、総合評価は「A」)